第 32 号
平成１８年
９月２０日

題 字
植木 満 名誉会長

東進

発行所

土浦一高東進会

（茨城県立土浦一高
進 修 同 窓 会
東 京 支 部）

事務局　〒102-0093　東京都千代田区平河町２－７－５　砂防会館４階
宮崎法律事務所　TEL　03-3221-3711　FAX　03-3221-3713
ホームページ　http://www.geocities.jp/t_toshinkai/index.html

平成１８年度 東進会 総会　６月１０日（土）開催
役員を大幅改選　　元大使　塙　哲夫氏 が講演

次回の平成19年度総会は、平成19年6月16日（土）学士会館の予定です。

応援指導部の演技と吹奏楽部の演奏　　左端は校旗制定百年記念旗

東進会の平成18年度総会と付随する講演・懇親会などは、学士会館で開催された。当番幹事は昭和49年卒、来賓を含め合計１１９名の皆様が参加した。

最初の行事は、数年ぶりに母校から招請した吹奏楽部の単独演奏で始まり、校歌を含む応援指導部との合同演技演奏へと続いた。これら両部とも女子生徒の活躍が目立つものであった。

総会においては、決算予算のほか２年ごとの18・19年度の役員改選が承認され、17年度までの「理事」は「幹事」に改められた。主要役員は、次のとおりである。

会長	大野　金一（再任）	昭31卒
副会長	渡邉　光夫（新任）	昭20卒
同	長戸　琴（再任）	昭41卒
同	幕内　邦夫（新任）	昭43卒
同	君山　利男（新任）	昭48卒
幹事長	宮崎　好廣（新任）	昭43卒

引き続く、元エクアドル大使の塙哲夫氏（昭28卒）による講演は、予定どおり行われたものの、細部企画と進行面に不備があり、相当な時間不足を招き同氏にご迷惑をかけたので、お詫びして、その原案に近い内容を本号第２頁に掲載いたしました。

懇親会における中国雑伎（雑技）ショーは、東進会で初めてのイベントで多少の不安はあったが、その演技内容が素晴らしく、出席者全員を魅了、大変な好評を受けた。懇親会は和やかに進み、最後は応援指導部ＯＢが指揮する校歌斉唱となった。

当番幹事の出席は９名、準備段階を含めご苦労さまでした。次回総会への参加も期待しています。

特別講演

日本はどうなる
対アジア外交、対米関係

塙 哲夫 氏 による 講演

大野金一会長より、東進会総会でショートスピーチをしてもらえないかとの依頼を受けました。テーマは昨今の関心事「東アジア情勢」とのことでした。私にとって東アジアは関係の薄かった地域ですが、外務省に長年奉職したものとしてお応えするのが私の務めと考え、お引き受けすることとしました。テーマにはアジアに加えて対米関係を加えることとしました。長年海外から日本を見ているとアジア関係のみならず、対米関係が可成りの比重で見えてきます。それは日米関係に留まらず、米国と第三国の関係を見て、日米関係を理解できる面があるからである。色々資料も集めて準備をしたが、時間の制約もあり、満足なお話が出来ず、心苦しく思っております。開国から明治維新、近代化、当時の国際関係を見ながらお話を進めたいと思います。

１　明治維新、日本の近代化と日本を取り巻く国際情勢

１８５３年のペリーの来航で日本は開港、明治維新を迎え、近代化に取り組む。江戸時代の教育の発展が近代化に大いに役立ったことはいうまでもない。近代化の目標は欧米に追いつけ追い越せである。欧米列強の植民地政策の中で日本は植民地化されず、列強に加わることとなった。但し、江戸幕府が締結した不平等条約に苦しんだ。不平等条約改正の中身は「関税自主権の回復」と「治外法権の撤廃」だった。最初に改定に応じた国はメキシコ（１８８７年）で実に19年の歳月が過ぎていた。以後１８９４年から英、米、伊、露、独、瑞、白、仏、蘭、スイス、西、葡、智、墺洪、亜、希などの順で条約改正を実現した。

２　日清戦争、日英同盟、日露戦争

朝鮮の支配権を巡って１８９４年日清戦争が勃発した。戦争に勝利した日本は下関条約で台湾と遼東半島の割譲、軍費補償金として約３億円を勝ち取ったが、独、仏、露のいわゆる三国干渉により遼東半島の返還を余儀なくされた。露は遼東半島を租借、英国はこれに対抗して威海衛を租借、また九龍半島を99年租借、独は山東省の膠州湾を99年租借、仏は南部広州の広州湾を租借した。欧州では戦争と同盟が繰り返されていた時代である。１８５９年の仏墺戦争から始まり、普墺戦争、普仏戦争（ドイツ帝国の統一）、三帝同盟（独、墺、露）、露土戦争、英、墺、伊の地中海協商、露仏同盟、１９００年の仏伊秘密協定まで続いた。アフリカ、トルコ、極東問題に関して孤立していた英国が帝政ロシアの満州における武力進出を前に日本と同盟を締結することとなった。三国干渉で日清戦争の成果を著しく蚕食された日本と利害関係が一致した。１９０２年の日英同盟である。こうして１９０４年日露戦争に勝利して列強の仲間入りを果たした。なお、この間１８９５年ドイツ皇帝ヴィルヘルム二世が日清戦争での日本の勝利に警戒して黄色（東洋）人種抑圧論（黄禍論）を唱えた。日本政府はこれが欧米諸国に波及することを阻止するため、欧米に特使を派遣して世論工作を行なった。

３　米国はどうしていたか

米国は１８３６年住民を扇動してメキシコからテキサスを独立させて連邦共和国の仲間入りをさせ、１８４８年には米墨戦争でカリフォルニア、ニューメキシコ、アリゾナ、ネバダ、ユタとコロラドの一部を獲得、１８９８年には米西戦争でキューバをスペインから独立させて軍政下に置いて支配し、１９３４年プラット修正撤回によりキューバが完全独立するまで支配を続けた。グアンタナモ基地はキューバに返還せず、現在に至っている。米国は、米西戦争でスペインからプエルトリコとフィリピンを割譲させた。こうして米国の極東への進出が始まる。米国は、１９０３年にはパナマをコロンビアから独立させて運河地帯を永久支配することとなったが、１９９９年運河地帯をパナマに返還した。

４　韓国併合から太平洋戦争、そして敗戦と戦後の復興

日本は１９０９年韓国併合、１９３２年満州建国、１９３７年から日中戦争、１９４０年日独伊三国同盟を締結して１９４１年太平洋戦争に突入し、１９４５年終戦を迎える。日本の奇跡と言わせた戦後の復興は、軍事産業で培われた高い技術力と質の高い労働力であったことは間違いないが、それだけではない。１９５２年世銀に加盟し、当初はインドに次ぐ大口借入国だった。１９６６年の東名高速道路借款が最後で、１９７０年以降は有力な資金協力国となっている。また、朝鮮戦争、ヴェトナム戦争の特需、更に、戦後の巨額な賠償、それに続く経済協力は資本財を中心に行なわれたためこれらを生産する企業の発展にも繋がったといえよう。

５　第二次世界大戦後の国際関係

戦前お互いに反目しあっていたヨーロッパ諸国は、EECからEC、EUとなり、通貨統合も果たしている。米国は、最近一極支配体制、単独行動主義が目立つが、カナダとメキシコと共に北米自由貿易協定を締結している。日本に好意的な南米諸国も南米南部共同市場を形成している。戦場となったアジアではアセアンが拡大を続けている。しかし日本はその中にいない。戦後処理の問題として日本はビルマ、フィリピン、インドネシアに賠償を支払った。しかし近隣国である韓国、中国との関係は、韓国は１９６４年日韓基本条約締結、中国は１９７２年日中共同声明により、やっと国交正常化が実現している。

６　日本はどうなる

日本はこれまでどこを向いていたのだろうか。明治の近代化の中で欧米崇拝、白人崇拝、舶来品賛美などなど。戦後は米国だろうか。米国は日本にとり極めて重要な国である。しかし全て米国に見習うことは危険である。米国の唱える自由貿易とは「米国の、米国による、米国のための」自由貿易である。核問題、人権問題等についてダブル・スタンダードが指摘されたりしている。米国の軍産複合体の影響力も懸念されている。「日米関係が良いほど中韓とも良好な関係を築ける」ということはない。私は中南米在勤中に「日本人は人種差別主義者だ」といわれ、びっくりしたことがある。「日本人は中国人、韓国人、東南アジア人を蔑視している」と言うのである。戦中を思い出せば中国人、韓国人に対し蔑視用語を使う事例もあった。人種差別は他人事のように思われるが身近にあるのである。日本人はそれを意識しないし感じないのである。欧米などに行って差別されて初めて感ずるのである。黄色人種である日本人が同じ黄色人種のアジア人を蔑視してはならないのである。

５月25日から日経新聞社主催で第12回国際交流会議が「アジアの未来―アジア共同体への道、構想と展望」をテーマに開かれた。中曽根元総理は、東アジア経済協力機構の創設を提唱し、アセアン10カ国と日中韓豪印、ニュージーランドに米ロ両国を加えた18カ国をあげた。これに対してアブドラ・マレーシア首相は東アジアFTAが急務、アセアンと日中韓の主導で、インドは想定せずと発言した。また、マハティール・マレーシア前首相は東南アジアと北東アジアに限定すべき。アセアンと日中韓を共同体の軸とする。インドについては共同体グループの一つと考える。豪、ニュージーランドの考え方や習慣は東アジアに適合出来るのかと疑問を呈した。

おわりに

日本はアジアをよりよく理解し、アジアとの友好関係を深め、アジアの技術先進国、経済大国としてアジアの期待に応え、その上でアジア以外の国々との関係強化に努めて行くべきではないだろうか。米国、ロシア、中国、韓国との間でもさまざまな問題がある。軍産複合体企業を有する中国軍部の動向にも注目する必要はあるであろう。アジアで、そして世界で孤立しないためにも、日本は、まず、アジア諸国と話し合い、理解し合える関係を築くことが重要なのではなかろうか。

主要役員挨拶など諸風景

懇親会 閉会宣言
渡邉 副会長

懇親会 乾杯
茂在 大先輩

懇親会 開会宣言
君山 副会長

総会 会計報告・役員改選
幕内 副会長

総会 挨拶
大野 会長

総会 開会宣言
長戸 副会長

総会 司会進行
宮崎 幹事長

喜寿のお祝い　　右写真の左から今井・助川・神林・山藤・妹川・木島・酒寄・砂山の各氏（計８人）に大野会長から記念品を贈呈
左写真の尺八演奏は矢口、贈呈補助は今泉、進行は上田の各幹事

応援指導部　男子旗手・女子リーダー長の順に入場

総会・懇親会を盛り上げた昭和 49 年卒の当番幹事の皆様

中国雑伎ショー　見事な柔軟性とバランス感覚

校歌斉唱に続く応援指導部 OB の演技

最後の校歌斉唱

林　幸子（昭37）

矢口　照雄（昭37）

海老原 啓一郎（昭38）

中島　穣（昭38）

野村　ルナ（昭38）

宮本　誠之（昭38）

山田　忠敬（昭39）

池和田　暁（昭40）

市村　誠（昭41）

糸賀　節（昭41）

今泉　房子（昭41）

太田　みち子（昭41）

小野　利夫（昭41）

桂　栄治（昭41）

甲田　三重（昭41）

後藤　富美夫（昭41）

髙山　了（昭41）

中島　忠男（昭41）

長戸　琴（昭41）

野口　卓男（昭41）

葉梨　健次（昭41）

久松　信明（昭41）

安井　恵子（昭41）

山村　章（昭41）

高倉　武（昭42）

木村　繁夫（昭43）

鈴木　厚（昭43）

幕内　邦夫（昭43）

宮崎　好廣（昭43）

柳沢　成二（昭43）

渡邊　慎一（昭43）

大関　享（昭44）

岡崎　孝宣（昭44）

永井　博（昭44）

猪俣　勝広（昭45）

鈴木　良治（昭45）

平松　美恵子（昭45）

小野　幹夫（昭46）

株木　博（昭46）

橋本　照実（昭46）

太田　滋徳（昭48）

君山　利男（昭48）

柴原　至（昭48）

福田　淳一（昭48）

矢口　泰士（昭48）

柳澤　泰男（昭48）

井上　厚（昭49）

上田　龍児（昭49）

酒井　利久（昭49）

高野　郁子（昭49）

高柳　登（昭49）

田崎　洋（昭49）

野口　久隆（昭49）

山口　信子（昭49）

吉川　雅孝（昭49）

酒井　学雄（昭56）

木村　壮一郎（昭61）

伊東　明彦（平05）

山本　厚（平07）

平島　泰裕（平10）

その他

総会・懇親会費を事前に納入されたが当日欠席となった方々は、次の４名である。

菊地　清（昭31）

山岡　憲（昭41）

雨貝　二郎（昭39）

井坂　公明（昭48）

平成１８年度
総会　出席者名簿

（　）は卒業年次など

来　賓

茨城県東京事務所 次長
小嶋　裕司　様

茨城県東京事務所 主任
政策員　中村　修　様

土浦一高 校長
村松　輝美　様

進修同窓会　副会長
大曽根　宏亮　様

会員及び賛同者

敬称略

茂在　虎男（昭06）

大津　一郎（昭20）

大塚　保（昭20）

貝塚　平次郎（昭20）

狩谷　孝雄（昭20）

坂井　祥司（昭20）

酒寄　和郎（昭20）

篠田　康（昭20）

高野　孝（昭20）

田中　和夫（昭20）

松尾　一郎（昭20）

山口　進（昭20）

渡邉　光夫（昭20）

助川　清（昭21）

神林　一芳（昭22）

妹川　和夫（昭23）

山藤　和夫（昭23）

神立　茂信（昭24）

木島　幸夫（昭24）

酒寄　恵行（昭24）

砂山　嘉幸（昭24）

今井　伸之（昭27定）

川村　博通（昭27）

坪井　洋（昭27）

黒田　常（昭28）

砂川　憲二（昭28）

塙　哲夫（昭28）

広瀬　彪（昭28）

山崎　勉（昭28）

池田　三男（昭29）

米山　賢二（昭30）

井坂　正（昭31）

大野　金一（昭31）

倉持　功（昭31）

五頭　隆治（昭31）

酒井　隆二（昭31）

高野　久弘（昭31）

田崎　秀男（昭31）

田村　恒（昭31）

露木　修（昭31）

蓮　幸治（昭31）

水越　勝雄（昭31）

本川　軍治（昭31）

矢口　勝英（昭31）

山田　晴康（昭31）

山本　嘉子（昭31）

渡辺　隆（昭31）

阿部　尚光（昭32）

伊藤　実（昭32）

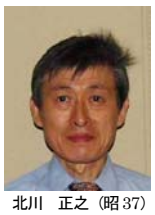
片岡　宏之（昭32）

服部　彧雄（昭32）

平沢　弘道（昭32）

沼里　征二（昭33）

若山　宏（昭36）


北川　正之（昭37）

謳粋会　毎月開催

6月は茨城南部の小旅行を実施

篠田会長が率いる謳粋会は、前号で報告の後、次のとおり毎月の定例会を開催した。

第93回　平18・5・11（木）参加者23名
十条・サッソネロ　イタリア料理

第94回　平18・6・17（土）参加者29名
茨城南部小旅行
牛久沼畔・伊勢屋　うなぎ料理

第95回　平18・7・13（木）参加者21名
駒込・岩むら　日本料理

第96回　平18・8・10（木）参加者23名
銀座・竹富島　沖縄料理

第97回　平18・9・14（木）参加者21名
新橋・J'Sベッカライ　ドイツ料理

第94回6月の例会は、土曜日に開催、地元牛久出身の大野東進会長の全面支援を受け企画、初期の計画に対し多少の変更はあったが、実行当日は梅雨の合間の好天に恵まれ、バスをチャーターしてワープステーション江戸など名所を訪ねる小旅行と牛久沼畔での会食を楽しむことができた。

行程は、つくばエクスプレスと関東鉄道常総線の交わる守谷駅（守谷市所在）集合から始まった。記者に限らずエクスプレスは初めての皆様がおり、よい体験となった。

東洋一の生産規模を誇るアサヒビール茨城工場（牛久沼の西方、守谷市所在）へは、守谷駅からも西へ車で10分ほど、ビール会社提供の無料シャトルバスを利用した。

平成3年操業開始の近代的な工場見学は型どおりであったが、オリエンテーション・シアターでのビデオ説明、製造各工程の見学後、地上60mの展望接待館で試飲を楽しんだ。マイカーによる見学者などに対しては、ソフトドリンクも準備されていた。

アサヒビール茨城工場　展望接待館で試飲

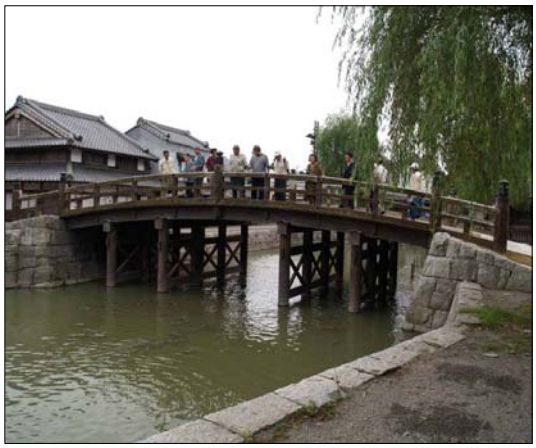
その後、会食場所までの移動には、すべてチャーターバスを使用した。

ビール工場から次のワープステーション江戸（牛久沼の西方、つくばみらい市・旧伊奈町所在）までは車で30分ほどかかった。

ここは、平成12年にオープン、現在は茨城県開発公社が運営、NHK大河ドラマなどのロケ収録にも活用されている有料の娯楽施設である。

広大な敷地に日本橋や町屋、江戸城大手門など数多くの建物が再現されており、各自、思い思いに相当な時間をかけ見学した。休憩場所は適宜整備されていたが、パンフレットには特に休憩の説明のない日本庭園で過ごし安らぎを求める方が多かった。

続く小川芋銭に関する施設（牛久沼中央部の北端、牛久市所在）までは、バスと徒歩で約40分要した。芋銭については、説明掲示板2枚と後述の雲魚亭に備え付けのNHK制作ビデオにより、紹介したい。


ワープステーション江戸　日本橋

ワープステーション江戸　大店ゾーンで記念撮影

小川芋銭は、明治元年、牛久藩邸（現在の東京赤坂）で生まれ、牛久に居住時、昭和13年に71歳で他界した人物で、河童を利用した挿絵で世間を風刺したことで知られるようになった画家である。その一方で書や俳句にも通じ、各地を訪れ、絵を描く芭蕉とも称せられ不朽の名作を遺した郷土の逸材である。

今回は、その河童図と「誰識古人画龍心」の文字を刻んだ昭和26年に建立の小川芋銭碑（河童の碑）と、少し離れた所にある小川芋銭記念館雲魚亭を見学した。雲魚亭とは、芋銭最晩年の昭和12年に建築された本人の命名による和風の画室兼居室であった。

小川芋銭碑（河童の碑）

守谷駅からこれまでの経過時間は約5時間30分、充実した内容であった。

見学終了後、バスで20分ほど離れた牛久沼畔の老舗「伊勢屋」（牛久沼の南端、国道6号沿い、竜ヶ崎市所在）で、うなぎ料理を主とする会食となった。

参加者は、守谷駅で25名（うち女性3名）、会食時には29名（うち女性6名）に達し、これまでの記録を更新、最多の人員となった。

最後は大多数が最寄りの常磐線佐貫駅（竜ヶ崎市所在）へ徒歩移動、自由解散となった。

謳粋会100回記念については、企画委員会を設け露木修委員長（東進会常任顧問）を中心に検討することになりました。

謳粋会連絡先　大野法律事務所
TEL　03-3556-9787
FAX　03-3556-9788

（編集担当副幹事長　酒井隆二　記）

半了のささやき（第２回）
アオイクマ

高山寺　半了

今回も、百歳まで心身共にかくしゃくと元気に過ごせる魔法の呪文（その2）ですよ。それは**「アオイクマ」**。ドレミの歌ではないが、「アは焦るなのア」、「オは怒るなのオ」、「イは威張るなのイ」、「クは腐るなのク」・・・とここまでは分かりやすいでしょうが、さて**「マ」**は何でしょうか？

何だこりゃ、前回「カキクケコ」と同じじゃないか。手抜きもいい加減にしろ：と「怒りそう」になった御仁・・そう記憶力抜群な貴方の事ですが・・正解です。でもそこは半了、少しだけ奥の深い事を考えてみました。前回「カキクケコ」は中高年世代（つまり東進会会員）向け。今回の「アオイクマ」は語感からも、老若男女を問わず、お孫さんや学生さん、社会人や退職シルバー世代、それに何よりもさっき思わず「怒りそうに」なった貴方には最適な「プラス思考」の呪文、行動原則です。もう賢い皆さんはお分かりですね。そうですよ。**「マは負けるなのマ」**です。

「カキクケコ」は元京大教授大島清先生が提唱。それでは「アオイクマ」は誰が言い出したのでしょうか？実はこれが分からない。物まね天才コロッケさんは、下積み時代辛くなるとお母さんが台所に貼っていたアオイクマを思い出し頑張ったそうです。どうも昔からの智恵なのでしょうか？そこでグーグルでネット検索。何と・・５９９件もあるではないか。ちゃっかり商標登録している団体まである。意味は同じだが言い方は多様。「焦らない、怒らない・・」の自重型とか「クはくよくよしない」とか。さらに**「アオイタカ・愛情・思いやり・息抜き・助け合い・寛大」**なるものもありました。

さて本論。威張ったり怒ったりするのはどういう時でしょうか？そう誰でも心当たりがありますよね。「長」が着いた時ですね。「班長・級長・生徒会長」から「課長・部長・社長」そして「町内会長から市長・理事長」。本人は無自覚でも周りからは威張って見えてしまいますね。自分で気がつき自重できる人は人物。しかし退職後も昔の肩書を引きずり、誰かがチヤホヤしてくれると勘違いしている人が多いですね。同窓会や町内会では嫌われるそうです。又、認知症になり易い職業は「先生と役人と警察そして大企業の役員」だそうです。何れも縦社会に適合しすぎ威張る事が習い性になりがち。定年後は横社会。進化しないと生き残れませんぞ。ご注意、ご注意。それでは逆に、焦ったり腐ったりするのはどういう時でしょうか？そう友が先に「長」になった時ですね。「友がみなわれよりえらく見ゆる日花を買ひ来て妻としたしむ」（石川啄木）。しかし茨城の花火師野村陽一さんは、19年間、闇夜の烏と言われてもめげず、あらゆる調合をコツコツ繰り返し試み、ついに土浦と大曲の全国花火競技大会で連続優勝の栄冠を手にしています。そこで今回のささやき。**「マの負けるなとは即ち克己心」**。他者との勝ち負けではなく、内なる自分の弱さに負けない事なのではないのでしょうか。

処で、「アオイクマ」より「アオイハンカチ」が好いわと思った貴女。甲子園決勝戦を2回見て感動。「昨日はヨン様、今日からは佑様」に変心。そう言えば5年前は小泉さ～ん。今は安倍ちゃ～んですか？結構結構、御歳を忘れ常に若さを求める完璧なおばさんですね。バカなやつと思ったおじさん：そう貴殿ですぞ。自分に甘く**「マ抜け」**がお好きな御仁。何時までも「怒って威張って」いると熟年離婚が待っていますぞ。**「オイアクマ」**と呼ばれ、認知症と言う悪魔も早く来ますぞ。

最後に、30、40代の若い会員諸君。是非一度、東進会総会や謳粋会に来てみませんか？「初めてやってきた人に、スッと居場所をつくってあげることのできる人。輪の中に入れずに一人で立っていたら、さり気なく側に行って話しかけてあげることのできる人。そういう人の心が分かる人こそが、定年後にみんなに慕われるようになるのです。」（元特捜検事堀田力さん）。東進会は悠々とした優しいアオイクマさんで溢れていますよ。

平成18年度 東進会・地元対抗ゴルフ大会

東進会・地元対抗のゴルフ大会は、去る5月1日（月）、新緑も目映い東筑波カントリークラブで行われました。このコースは、東進会の大野金一会長のメンバーコースで、距離があり、茨城県内でも一、二を争う難コースです。

日程は、連休中の平日を選びましたが、当日は五月晴れの、正にゴルフ日和の爽やかな一日でした。参加者は、昭和31年卒業生を中心に、女性4名を含め、合計27名でした。

新ペリア方式による競技結果は、優勝者が地元組の高野光夫さん、準優勝はやはり地元組の安田秀徳さん、3位は東進会組の菊池清さんでした。また、ベストグロス賞は優勝者の高野光夫さんで、グロス80（南コース41、北コース39）というすばらしいスコアでした。

東進会組と地元組の団体戦では、圧倒的に賞品を獲得した地元組が勝ちました。

表彰式を兼ねた親睦会は、ゴルフに対するそれぞれの思いを発表する場となり、楽しい雰囲気に包まれました。

親睦会のお開きでは、「両手を上に向けて」から始める三本締めで、さらに元気でゴルフに精進する事を誓い合いました。

（企画担当副幹事長　鈴木良治　記）

県人会連合会の総会・懇親会に参加して

本年7月5日、椿山荘で開かれた例会に連合会を構成する団体の一員として参加した。受付手続き後、今回は、以前から何となく気にしていた総会にも出席した。

その会場は、受付があり懇親会を待つ多数の皆様で賑やかな区画からちょっと下ったところの別室で、出席資格を満たしているのか議決権があるのか確認しないまま入室してしまった。出席者は、１００名以下であった。

総会議長は鶴田会長（日経 前社長）が務め、県東京事務所小嶋次長が司会進行役であった。所用時間は20分ほど、常任理事会からの提案どおり、次々と議決された。

この議決などで印象に残った事項は、海老沢ＮＨＫ前会長が副会長に新任されたことと、議案とは明記されていなく一部矛盾点はあるが本年7月までの改正分を含む会則が総会配布資料に添付されていたことである。

その後、18時30分頃から開始された懇親会は、東進会からの十数名を含む数百名が参加し、盛大であった。筑波山・江戸屋の大女将の「ガマの油売り口上」実演や、県産品料理の多数出店など、皆さん大いに喉を潤し腹を満たし楽しんだ。お楽しみ抽選もあり、閉会退出時には全員がお土産をいただいた。

（編集担当副幹事長　酒井隆二　記）

訃報　顧問 植木 和男 様 ご逝去

故　植木 和男 様

東進会の発足当時、会の基礎作りに尽力された植木和男顧問が８年に及ぶリュウマチでの闘病生活の末、平成17年７月14日朝急性心不全で逝去されました。13日夜「今日もどうもありがとう。おやすみ。」と奥様の桜美様にいたわりの言葉をかけられたのが最後の言葉だったそうです。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げると共に遅ればせながら皆様にお知らせ申し上げます。

植木和男様は茨城県立土浦中学校を昭和19年卒業、昭和26年日本大学工学部を卒業しましたが、生来音楽好きでしたのでこの道で生きようと決心し卒業と同時にラジオ東京に入社、音楽部に所属し人気番組「歌のない歌謡曲」のディレクターとして一世を風靡、ＴＢＳサービス取締役、ミュージック・ステーション・ユーの初代代表取締役社長、音楽教育振興財団理事等を勤め一生を音楽界に捧げました。

葬儀は関係者相集い音楽葬でお送りし、富士霊園で永遠の眠りについております。

花びらは散っても　花は散らない
形は滅びても　人は死なぬ

土浦一高東進会の我々一同、貴兄の心を心に生かしながら会の益々の発展のため頑張ります。どうぞ心安らかにお眠り下さい。合掌

副会長　渡邉 光夫 記

植木 桜美（はるみ） 様 連絡先
電話　０４２－４８６－６３５５番

いんふぉめーしょん

林 幸子さん「プラハ日記」を平凡社から出版

よつ葉ライブラリー館長でテレジンのイニシアティブに関し地道な活動を続けている林幸子さん（昭37卒）は、前著「テレジンの子どもたちから」（平12新評論）と関係の深い「プラハ日記」（四六版２６７頁　定価１６００円（税抜き））を本年５月に出版した。

これら両書の中心人物ペドル・ギンズ君がナチスによりテレジンに連行される前に居住していたプラハ当時の日記は、数年前、偶然に発見されている。新発見の日記を確認した生き残りの妹さんは、関係図書を最近ドイツやチェコなどで出版した。このチェコ版を林さんが専門の翻訳家と共訳のうえ今回の出版に至ったものである。

皆様ほか多くの識者に読まれんことを期待する。

倉持 功（ペンネーム二上洋一）氏「私家版 推理小説三十五年私史」を限定出版

集英社の編集長ほか要職を務め、退任後も昨年「少女まんがの系譜」（ぺんぎん書房）を出版した倉持功氏（昭31卒）は、本年８月、標記図書（四六版２２３頁）を執筆出版した。

その内容は、日本推理作家協会賞の予選審員を務めた経験のある同氏が、昭42年から平13年の35年間にわたり年ごとに好みの年間推理小説ベスト10を選び、それぞれの解説を記述したものである。

購読を希望される方は、同氏あて連絡願います。

堀内 噎子さん（昭31卒）新興展で新興美術院賞を受賞

本年の第56回日本画新興展は、５月に東京、６月に京都で開催された。

この新興展で、文部科学大臣賞を上回る最高の栄誉を受けられたことをお祝いし、該当作品の写真を掲載、皆様に紹介する。

新興美術院賞受賞　シュピーツ風景　堀内噎子

編集後記

遅くなりましたが東進会総会関係の特集号をお送りします。

本年度も総会に出席された皆様方のご協力により、特に受付担当の諸兄諸姉のご支援を受け、皆様方全員の個人写真を撮影できました。ご協力、ご支援、有り難うございました。

沼里氏からの会場写真、髙山氏からビデオ映像も、本号における写真の選定源となっただけでなく、時間的な記録によって全体また細部の進行確認に役立ちました。

高山寺半了さんからのご寄稿による「半了のささやき」シリーズは、順調に軌道に乗りました。

そのほか多くの皆様から情報の提供、寄稿あるいは画像の修整など各種のご支援を賜り、有り難うございました。

本年８月現在、紙面の制約による未掲載の原稿はありません。次号の発行は、例年どおり平成19年の４月末、連休前を予定しております。今後も各種情報の提供、ご寄稿を期待しています。よろしくお願い致します。

総会後の「東進」発行は、これまで10月となっておりましたが、今後は本号と同じ９月発行を目標に諸作業を進めたいと考えております。

今回の総会におきましても、次の当番幹事の紹介を行うことができず課題が残りました。この解決を図り、東進会の発展を期するため、例年より早く本年10月には東進会役員会が開かれることになりました。